文法
練習問題

文法1
言葉の単位

名前　一年　組　番

月　日

1 次の「言葉の単位」について説明したものを後から選び、記号で答えよう。

①文章（　　）　②談話（　　）　③段落（　　）
④文（　　）　⑤文節（　　）　⑥単語（　　）

ア 発音や意味のうえで不自然にならないように、文をできるだけ短く区切ったまとまり。
イ 「何（だれ）が―どうする・どんなだ・何だ・どうしたい・どうしろ」など、一まとまりの内容を表す一続きの言葉。最後に句点を付ける。疑問符や感嘆符を付ける場合もある。
ウ 一編の論説・小説のように、一まとまりの内容を、文字で書き表したもの。多くの場合、複数の文が集まってできている。
エ 言葉の意味や働きを壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。文法上、意味や働きをもつ言葉としては、最小の単位である。
オ 日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容。多くの場合、複数の文が集まってできている。
カ 書き手が、意図をより明確に伝えるために、文章を内容のまとまりごとに区切ったもの。

2 次の文章に句点を打とう。

天気予報によると明日は雨になるそうだそうすると楽しみにしていた登山は延期になるかもしれないテレビを見ながら私はため息をついた

3 [例]にならって、次の文を文節に区切ろう。

[例]私は／静かな／部屋で／本を／読む。

①小説家になることが兄の夢だ。
②食卓の上に小さなみかんが二つある。
③図を示しながら丁寧に説明した。
④この梅の木は毎年たくさん実を付けます。
⑤三時から文化祭の準備を行うそうだ。
⑥真夏の太陽がぎらぎらと照りつける。

4 [例]にならって、次の文を単語に分けよう。

[例]私・は・静か・な・部屋・で・本・を・読む。

①クロールの息つぎのしかたを練習する。
②桜の花びらがひらひらまい落ちる。
③校庭から子供たちの笑い声が聞こえる。
④豊かな自然を守ることは我々の務めだ。
⑤君とかわした約束を決して忘れない。

文法
練習問題

文法1
言葉の単位（解答）

名前　一年　組　番

月　日

1 次の「言葉の単位」について説明したものを後から選び、記号で答えよう。

①文章（ウ）　②談話（オ）　③段落（カ）
④文（イ）　⑤文節（ア）　⑥単語（エ）

ア 発音や意味のうえで不自然にならないように、文をできるだけ短く区切ったまとまり。
イ 「何（だれ）が―どうする・どんなだ・何だ・どうしたい・どうしろ」など、一まとまりの内容を表す一続きの言葉。最後に句点を付ける。疑問符や感嘆符を付ける場合もある。
ウ 一編の論説・小説のように、一まとまりの内容を、文字で書き表したもの。多くの場合、複数の文が集まってできている。
エ 言葉の意味や働きを壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。文法上、意味や働きをもつ言葉としては、最小の単位である。
オ 日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容。多くの場合、複数の文が集まってできている。
カ 書き手が、意図をより明確に伝えるために、文章を内容のまとまりごとに区切ったもの。

2 次の文章に句点を打とう。

天気予報によると明日は雨になるそうだ　そうすると楽しみにしていた登山は延期になるかもしれない　テレビを見ながら私はため息をついた

3 ［例］にならって、次の文を文節に区切ろう。

［例］私／は／静／か／な／部／屋／で／本／を／読／む。

①小／説／家／に／な／る／こ／と／が／兄／の／夢／だ。
②食卓／の／上／に／小／さ／な／み／か／ん／が／二／つ／ある。
③図／を／示／し／な／が／ら／丁寧／に／説／明／し／た。
④この／梅／の／木／は／毎／年／た／く／さ／ん／実／を／付／け／ま／す。
⑤三／時／か／ら／文／化／祭／の／準／備／を／行／う／そ／う／だ。
⑥真／夏／の／太／陽／が／ぎ／ら／ぎ／ら／と／照／り／つ／け／る。

4 ［例］にならって、次の文を単語に分けよう。

［例］私・は・静か・な・部屋・で・本・を・読む。

①クロール・の・息つぎ・の・しかた・を・練習する。
②桜・の・花びら・が・ひらひら・まい落ちる。
③校庭・から・子供たち・の・笑い声・が・聞こえる。
④豊かな・自然・を・守る・こと・は・我々・の・務め・だ。
⑤君・と・かわし・た・約束・を・決して・忘れ・ない。

文法
練習問題

文法2
文の組み立て

名前

一年　組　番

月　日

1　次の文から、――線部の述語に対する主語を抜き出そう。ただし、主語が省略されている場合は×印を書こう。

①　彼だけが、一班の提案に異議を唱えた。（　　）
②　先週の日曜日は、友人と近くの山に登った。（　　）
③　今朝の海はおだやかで、風もほとんどない。（　　）
④　買い物客で混み合い、商店街はとてもにぎやかだ。（　　）
⑤　あれが、今話題になっているレストランだ。（　　）

2　次の文で、――線部が修飾（しゅうしょく）している文節を抜き出そう。

①　木々の鮮やかな新緑が目にまぶしい。（　　）
②　私は、自転車で隣町の美術館に行った。（　　）
③　晴れていたのに、いきなり雨が降りだした。（　　）
④　地層からアンモナイトの化石が発掘された。（　　）
⑤　昨日、兄が留学先のアメリカから戻った。（　　）

3　次の文から、〔　〕の中の文節を抜き出そう。

①　寒くなってきた。だから、上着を着た。〔接続語〕（　　）
②　難しいが、あきらめずに挑戦（ちょうせん）しよう。〔接続語〕（　　）
③　もしもし、林さんはご在宅ですか。〔独立語〕（　　）
④　希望、それは人に生きる力を与えるものだ。〔独立語〕（　　）

4　次の文の――線部の文節または連文節は、どのような文の成分になっているか。下から選び、記号で答えよう。

①　向こうに見える五階建ての建物は、市役所です。（　　）
②　もうすぐ雪が解けて、梅の花も咲き始めるだろう。（　　）
③　楽しかったので、またいっしょにサイクリングをしよう。（　　）
④　すがすがしい空気を、胸いっぱいに吸い込んだ。（　　）
⑤　演劇部の皆さん、次の公演はいつですか。（　　）

ア　主語・主部
イ　述語・述部
ウ　修飾語・修飾部
エ　接続語・接続部
オ　独立語・独立部

5　次の文の〔　〕の中の関係が成り立っている二つの文節に、――線を引こう。

①　人類は科学技術を発達させて、豊かで便利な社会を築いてきた。〔並立の関係〕
②　毎年、北海道の親戚から、じゃがいもやたまねぎが送られてくる。〔並立の関係〕
③　みんなに読んでほしい本があるので、図書の紹介カードを書いた。〔補助の関係〕
④　昨日、鉢植えの植物に水をやるのを忘れてしまった。〔補助の関係〕

文法
練習問題

文法2
文の組み立て（解答）

名前　一年　組　番

月　日

1　次の文から、――線部の述語に対する主語を抜き出そう。ただし、主語が省略されている場合は×印を書こう。

①　彼だけが、一班の提案に異議を唱えた。（彼だけが）
②　先週の日曜日は、友人と近くの山に登った。（×）
③　今朝の海はおだやかで、風もほとんどない。（風も）
④　買い物客で混み合い、商店街はとてもにぎやかだ。（商店街は）
⑤　あれが、今話題になっているレストランだ。（あれが）

2　次の文で、――線部が修飾（しゅうしょく）している文節を抜き出そう。

①　木々の鮮やかな新緑が目にまぶしい。（新緑が）
②　私は、自転車で隣町の美術館に行った。（行った）
③　晴れていたのに、いきなり雨が降りだした。（降りだした）
④　地層からアンモナイトの化石が発掘された。（化石が）
⑤　昨日、兄が留学先のアメリカから戻った。（戻った）

3　次の文から、〔　〕の中の文節を抜き出そう。

①　寒くなってきた。だから、上着を着た。〔接続語〕（だから）
②　難しいが、あきらめずに挑戦（ちょうせん）しよう。〔接続語〕（難しいが）
③　もしもし、林さんはご在宅ですか。〔独立語〕（もしもし）
④　希望、それは人に生きる力を与えるものだ。〔独立語〕（希望）

4　次の文の――線部の文節または連文節は、どのような文の成分になっているか。下から選び、記号で答えよう。

①　向こうに見える五階建ての建物は、市役所です。（イ）
②　もうすぐ雪が解けて、梅の花も咲き始めるだろう。（ア）
③　楽しかったので、またいっしょにサイクリングをしよう。（エ）
④　すがすがしい空気を、胸いっぱいに吸い込んだ。（ウ）
⑤　演劇部の皆さん、次の公演はいつですか。（オ）

ア　主語・主部
イ　述語・述部
ウ　修飾語・修飾部
エ　接続語・接続部
オ　独立語・独立部

5　次の文の〔　〕の中の関係が成り立っている二つの文節に、――線を引こう。

①　人類は科学技術を発達させて、豊かで便利な社会を築いてきた。〔並立の関係〕
②　毎年、北海道の親戚から、じゃがいもやたまねぎが送られてくる。〔並立の関係〕
③　みんなに読んでほしい本があるので、図書の紹介カードを書いた。〔補助の関係〕
④　昨日、鉢植えの植物に水をやるのを忘れてしまった。〔補助の関係〕

文法
練習問題

文法3 単語の分類

名前

一年　組　番

月　日

1 [例]にならって、次の文を文節に区切り（／）、その後、単語に分けよう（・）。そして、自立語に――線を引こう。

[例] 私・は、／冷たい／水・で／顔・を／洗う。

① 裏山に珍しい野鳥がいる。

② 山頂からの眺めは、とても美しい。

③ 鏡のような湖の風景を絵に描く。

④ 彼は森を守る活動に参加します。

⑤ ノートに黒板の文字を丁寧に書き写した。

2 [例]にならって、次の文の中から、活用する単語を抜き出そう。

[例]夜空の星が美しく輝く。

活用する語 （ 美しく　輝く ）

① 引き出しの中に古い手紙がある。

活用する語 （ ）

② 夕日が都会のビルを鮮やかに染める。

活用する語 （ ）

③ 谷間からわき出る地下水はとても冷たい。

活用する語 （ ）

④ 料理に必要な調味料がない。

活用する語 （ ）

⑤ 弟に問題の解き方を詳しく説明した。

活用する語 （ ）

3 次の文の――線部の単語の分類を下から二つずつ選び、記号で答えよう。

① 山から涼しい風が吹いてきた。（ ・ ）

② 急に大きな音がして、驚いた。（ ・ ）

③ 祖母の誕生日に花束を贈った。（ ・ ）

④ もし晴れたら、出かけよう。（ ・ ）

⑤ お茶、あるいは、水を飲む。（ ・ ）

⑥ さあ、私と踊りましょう。（ ・ ）

⑦ あの古い建物は銀行です。（ ・ ）

⑧ 弟は熱帯魚を飼育している。（ ・ ）

⑨ ゴールを目ざして必死に走る。（ ・ ）

⑩ 早朝の公園はとても静かだ。（ ・ ）

ア 自立語
イ 付属語
ウ 活用する語
エ 活用しない語

文法
練習問題

文法3 単語の分類（解答）

名前　一年　組　番

月　日

1 [例]にならって、次の文を文節に区切り（／）、その後、単語に分けよう（・）。そして、自立語に――線を引こう。

[例] 私・は／冷たい／水・で／顔・を／洗う。

① 裏山・に／珍しい／野鳥・が／いる。

② 山頂・から・の／眺め・は／とても／美しい。

③ 鏡・の・ような／湖・の／風景・を／絵・に／描く。

④ 彼・は／森・を／守る／活動・に／参加し・ます。

⑤ ノート・に／黒板・の／文字・を／丁寧（ていねい）に／書き写し・た。

2 [例]にならって、次の文の中から、活用する単語を抜き出そう。

[例]夜空の星が美しく輝く。
　活用する語（美しく　輝く）

① 引き出しの中に古い手紙がある。
　活用する語（古い　ある）

② 夕日が都会のビルを鮮やかに染める。
　活用する語（鮮やかに　染める）

③ 谷間からわき出る地下水はとても冷たい。
　活用する語（わき出る　冷たい）

④ 料理に必要な調味料がない。
　活用する語（必要な　ない）

⑤ 弟に問題の解き方を詳しく説明した。
　活用する語（詳しく　説明し　た）

3 次の文の――線部の単語の分類を下から二つずつ選び、記号で答えよう。

① 山から涼しい風が吹いてきた。（ア・ウ）

② 急に大きな音がして、驚いた。（ア・エ）

③ 祖母の誕生日に花束を贈った。（イ・エ）

④ もし晴れたら、出かけよう。（ア・エ）

⑤ お茶、あるいは、水を飲む。（ア・エ）

⑥ さあ、私と踊りましょう。（ア・エ）

⑦ あの古い建物は銀行です。（イ・ウ）

⑧ 弟は熱帯魚を飼育している。（ア・エ）

⑨ ゴールを目ざして必死に走る。（ア・ウ）

⑩ 早朝の公園はとても静かだ。（ア・ウ）

ア　自立語
イ　付属語
ウ　活用する語
エ　活用しない語